

農地利用最適化推進施策に関する意見書

貴職におかれましては、本市の農業振興に対する施策を積極的に推進されるとともに、農業委員会の活動に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市の農業を取り巻く状況は、山田錦の契約数量の減少、農業収入の減少、農業者の高齢化と農業後継者の不足に加えて農業の担い手の不足、鳥獣被害の増加など非常に厳しさを増しており、農地を保全し農村集落と地域農業を守るため早急な対策が必要です。

三木市農業委員会に対しては、日常活動を通じ市域の農業者の声を広く聴き、農業施策に反映すべく農業者と行政との橋渡しの役割も期待されています。

つきましては、農地利用最適化推進施策に関する意見書を提出しますので、検討の上、施策に反映いただきますようお願いいたします。

令和3年4月13日

三木市長 仲田 一彦 様

三木市農業委員会
会長 鷲尾 信彦

1 農作業受託料金への助成支援と遊休農地の発生防止について

兵庫みらい農協のアグリサポートが 10 アール未満の農地の作業料金単価を上げたため、作業効率の悪い 10 アール未満の小さい農地を所有する委託農家などから負担に感じる声が上がっています。負担が大きいとを感じる農家によっては耕作放棄につながる懸念もあります。

一方、受託する側の業者や担い手も作業効率の悪い中山間地の小規模農地での作業を受託しても作業内容に比較し収益性が乏しく、また、コンバインなど保有する機械大型機械の更新が進まないなどの悩みを抱えています。

預ける方も受ける方も両方が安心して受委託できるような補助のあり方、金額、基準等を農業者、農協、担い手、行政などでプロジェクトチームを作り検討していくことを提案します。

そのことが農地を守ることにもつながっていくと考えます。

2 農業者の育成及び支援策について

(1) 認定農業者の育成と支援について

従来、認定農業者は個人での活動が主でしたが、グループでの意見交換の場を求める声があります。

勉強会、若手育成の方法、インターンシップでの学生の受け入れなどを検討していけるようなグループの育成と支援をお願いします。

(2) 兼業農家及び集落営農組織の育成と支援について

山田錦は刈り取り適期の期間が短く田植え、稲刈りなどの作業期間が集中するため、大規模農家 1 戸当たりの山田錦耕作面積には限界があります。

三木市の主力ブランドである山田錦を守るためには中規模の兼業農家及び集落営農組織の育成と支援も大切なものとなっています。

そのためには、農業者、農協、行政などでプロジェクトチームを作り兼業農家及び集落営農組織に対する育成と支援を検討していくことを提案します。

(3) 農業経営継承に対する支援の拡大について

新規就農者には助成金があるが次代の担い手となる農業後継者には支援が少ないので、その育成に対する支援の拡大をお願いします。

(4) 大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得支援拡大について

令和元年5月からの規制緩和により、作業機付きトラクターが一定条件のもと、公道走行が可能になりましたが、作業機を付けた状態で車幅が1.7メートルを超えると道路交通法では大型特殊自動車に区分され、大型特殊免許が必要になります。

現在、農耕者限定の大型特殊自動車講習会が開催されていますが、希望しても抽選のため受講できない場合があります。農地を守る農業者が必要な免許を取得できるよう講習枠の拡大を関係機関に早急に要望願います。

(5) 有害鳥獣被害の対策について

有害鳥獣による被害は、急激な増加に加えて新規発生なども多く農家は防除対策に苦慮しています。引き続き防護柵等への支援の拡充と柔軟な対応をお願いします。